

## 大阪市立川北小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校には、基礎学力の定着に課題のある児童や家庭環境の複雑さに起因する生活指導面に課題のある児童が複数在籍しており、基礎学力の定着、家庭と連携した生活指導の充実が不可欠である。

知育面では、児童の基礎・基本の定着に向けて、児童にとってわかりやすい授業づくり、児童の自主学習習慣づくり・家庭学習習慣づくり等に取り組む。また、コロナ禍における「児童の学びの保障」に向けて、ICT 機器（タブレット等）や双方向通信の環境の整備等をすすめ、オンライン学習を推進するとともに、教職員のオンライン学習における基礎的なスキル向上など、教職員研修を充実させる必要がある。

徳育面では、学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立、規範意識の育成や仲間づくりを通して、望ましい児童集団づくりをすすめる。また、児童の自尊感情の醸成を促す指導をすすめていく必要がある。

体育面では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、児童の体力や児童の「運動」に取り組む意識が低下していることが危惧される。児童の体力づくりや「運動」に取り組む意欲の向上を図るために、また、食育をはじめ、児童が自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができるように、取組をすすめる必要がある。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】****全市共通目標（小・中学校）**

- 令和7年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和7年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

**学校園の目標**

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「学校は、楽しい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり（環境美化、環境衛生等）に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり（ルール）を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「自分には、良いところがありますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を70%以上にする。

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起きたとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話会う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和4年度より0.05ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

#### 学校園の目標

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「手洗いをしている」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「給食を好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を令和4年度より全国平均に近づける。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 令和7年度において、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した授業・朝学習・家庭学習等を毎日実施する。
- 令和7年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を85%以上にする。

#### 学校園の目標

- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した学習をすすめている。」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 令和4年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。
- 令和4年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和4年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

#### 学校園の年度目標

- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「学校は、楽しい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 令和4年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり（環境美化、環境衛生等）に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和4年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり（ルール）を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。
- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「自分には、良いところがありますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を65%以上にする。
- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 令和4年度の小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話会う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。
- 令和4年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- 令和4年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。
- 令和4年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を50%以上にする。

#### 学校園の年度目標

- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「手洗いをしている」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「給食を好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を前年度より全国平均

に近づける。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 令和4年度において、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した授業・朝学習・家庭学習等を週3回以上実施する。
- 令和4年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を80%以上にする。

#### 学校園の年度目標

- 令和4年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した学習をすすめている。」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。
- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を75%以上にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括（中期目標の総括も含む）

今年度の目標項目については、それぞれの取組内容の指標等を目標どおり達成することができた。

中期目標を達成させるためには、本校の児童の中には、基礎学力の定着に課題のある児童や家庭環境の複雑さに起因する生活指導面に課題のある児童が複数在籍しており、今後も、基礎学力の定着、家庭・関係機関等と連携した生活指導の充実が不可欠である。

知育面では、基礎学力の確実な定着をめざし、「授業の充実」に努めた。また、教員の授業力向上に向けて、研究主題を「自分の思いや考えを伝え合う力を育てる」と設定し、校内研究に取り組んだ。その結果、一定の成果を上げることができた。

今後も、児童の基礎・基本の定着をめざし、ICT機器のより積極的な活用や効果的な活用に向けての研修等を充実させる必要がある。

徳育面では、学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立、規範意識の育成や仲間づくりを通して、望ましい児童集団づくりをすすめることができた。

今後も、児童の自尊感情の醸成を促す指導等をすすめていきたい。

体育（健康）面では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、児童の体力面や「運動」に取り組む意識の低下が危惧される。

今後も、感染症対策を講じた児童の体力づくりや「運動」に取り組む意欲の向上に努める。また、食育をはじめ、児童が自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができるように、取組をすすめていく必要がある。

## 大阪市内 川北小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|      |                      |                         |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した       | B: 目標どおりに達成した           |
|      | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 達成状況 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>【安全・安心な教育の推進】</b><br><b>全市共通目標 (小・中学校)</b><br>○ 令和4年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。<br>○ 令和4年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。<br>○ 令和4年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。<br><b>学校園の年度目標</b><br>○ 令和4年度の学校児童アンケートにおける「学校は、楽しい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。<br>○ 令和4年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり(環境美化、環境衛生等)に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を85%以上にする。<br>○ 令和4年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり(ルール)を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。<br>○ 令和4年度の学校児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。<br>○ 令和4年度の学校児童アンケートにおける「自分には、良いところがありますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を65%以上にする。<br>○ 令和4年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。 | B    |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                               | 達成状況 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b><br>・すべての児童にとって、学びやすく、安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努める。<br>・安全教育、防災・減災教育を推進する。    | B    |
| <b>指標</b><br>・日常的に、教職員による校内環境の安全点検・衛生管理等を実施する。<br>・交通安全教室等(年1回以上)を実施する。<br>・避難訓練・防災・減災学習等(年5回以上)を計画的に実施する。 |      |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| <p><b>取組内容②【基本的な方向２ 豊かな心の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ、きまりや時間を守ること、清掃の大切さを理解させる。</li> <li>・なかまづくりを通して、児童の自尊感情の醸成や思いやりの心を育てる。また、互いの違いを認め合い、自他を尊重する態度を育成する。</li> <li>・キャリア教育の充実を図る。</li> </ul> <hr/> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会を中心に「あいさつ運動」（各学期１回）を実施し、チェックカードによる振り返りを行う。</li> <li>・「よいところさがし週間」（各学期１回）を実施し、チェックカードによる振り返りを行う。</li> <li>・異学年交流を楽しめるよう集会活動等を実施する。</li> <li>・多文化理解等につながる体験的活動（全学年：年１回）を実施する。</li> <li>・子どもの人権に関わる教職員研修（年１回）を実施する。</li> <li>・キャリアパスポートを活用し、次年度に引き継ぐ。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <b>B</b> |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |
| <p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和４年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を７５％以上にする。<br/>令和４年度：７２．８％⇒取り組んだが目標達成できなかった</li> <li>○ 令和４年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。<br/>令和３年度：０％⇒令和４年度：０％：目標どおりに達成した</li> <li>○ 令和４年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。<br/>令和３年度：１００％⇒令和４年度：１００％：目標どおりに達成した</li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和４年度の学校児童アンケートにおける「学校は、楽しい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を８０％以上にする。<br/>１学期末：８９．０％ ２学期末：８８．６％⇒目標を上回って達成した</li> <li>○ 令和４年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり（環境美化、環境衛生等）に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を８５％以上にする。<br/>１学期末：８８．６％ ２学期末：９０．７％⇒目標を上回って達成した</li> <li>○ 令和４年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり（ルール）を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を９０％以上にする。<br/>１学期末：９６．９％ ２学期末：９６．４％⇒目標を上回って達成した</li> <li>○ 令和４年度の学校児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を８０％以上にする。<br/>１学期末：９２．９％ ２学期末：９１．４％⇒目標を上回って達成した</li> <li>○ 令和４年度の学校児童アンケートにおける「自分には、良いところがありますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を６５％以上にする。<br/>１学期末：６７．５％ ２学期末：６５．０％⇒目標どおりに達成した</li> </ul> |          |

- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起きたとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。

1学期末：93.2% 2学期末：92.5%⇒目標を上回って達成した

#### 取組内容①

- ・日常的に、教職員による校内環境の安全点検・衛生管理等を実施した。
- ・西淀川警察と連携した1・2・4年交通安全教室<11月16日（水）>を実施した。
- ・火災を想定した避難訓練<5月6日（金）>、地震・津波を想定した避難訓練<6月3日（金）>大阪880万人訓練と合わせた防災・減災学習<9月2日（金）>、不審者対応を想定した防犯訓練<11月11日（金）>、避難訓練のまとめとして、地震を想定した避難訓練、防災学習等<1月23日（月）>を実施した。

#### 取組内容②

- ・児童会を中心に「あいさつ運動」<1学期：6月20日（月）～6月24日（金）、2学期：12月5日（月）～9日（金）、3学期：2月27日（月）～3月3日（金）>を実施し、チェックカードによる振り返りを行った。
- ・「よいところさがし週間」<1学期：7月4日（月）～7月8日（金）、2学期：12月5日（月）～9日（金）、3学期：2月27日（月）～3月3日（金）>を実施し、チェックカードによる振り返りを行った。
- ・7月上旬より、異学年交流を楽しめるよう毎週木曜日に児童集会活動を実施した。
- ・外部講師による多文化理解等につながる体験的活動<1・2年：9月6日（火）、3・4年：9月13日（火）、5・6年：9月20日（火）>を実施した。
- ・外部講師による子どもの人権に関わる教職員研修<6月29日（水）>を実施した。

#### 次年度への改善点

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染状況も考慮しながら、防災・減災教育として、地域・関係機関と連携した避難訓練・防災訓練や保護者と連携した引き渡し訓練等の実施を検討する。
- ② キャリア教育の更なる充実を図るため、キャリアパスポートの有効活用に努める。

## 大阪市立川北小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 達成状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年度の小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話会う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。</li> <li>○ 令和4年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。</li> <li>○ 令和4年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする</li> <li>○ 令和4年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を50%以上にする。</li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。</li> <li>○ 令和4年度の学校児童アンケートにおける「手洗いをしている」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。</li> <li>○ 令和4年度の学校児童アンケートにおける「給食を好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。</li> <li>○ 令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を前年度より全国平均に近づける。</li> </ul> | B    |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                                                                                                                           | 達成状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p><b>取組内容③ 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の思いや考えを伝え合う力を育てる」をテーマとし、すべての教員が、指導法の研究や指導力向上に取り組む。</li> <li>・放課後における児童の学習機会をつくる。</li> <li>・学習意欲の原動力となる「心」への教育刺激として、すぐれた芸術にふれる機会や遠足、</li> </ul> | B    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| <p>社会見学、体験学習等の機会をつくる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の研究授業、公開授業等を年間１９回以上実施する。</li> <li>・教育指導員等を指導要請し、研究授業（年３回）・研究協議を実施する。</li> <li>・放課後学習会を実施する。</li> <li>・遠足、社会見学、体験学習等（全学年：年１回）を実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| <p><b>取組内容④【基本的な方向５ 健やかな体の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、児童の自主的な健康管理・衛生習慣（手洗い等）及び規則正しい生活習慣を育てる。</li> <li>・食物アレルギー対応を含め、食育の推進に努める。</li> <li>・体育的行事の充実を図り、児童が運動に親しむ機会を設けることで、児童の体力向上に取り組む。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての児童に、感染症対策（毎朝の検温、ていねいな手洗い、アルコール消毒、マスクの着用など）を徹底する。</li> <li>・「手洗い週間」（各学期１回）を実施する。</li> <li>・「食物アレルギー対応」、「救急救命」、「熱中症対策」、等の教職員研修（年１回）を実施する。</li> <li>・「保健だより」、「給食だより」（月１回）を発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめる。</li> <li>・「なわとび大会」等、体育的行事を実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                            | B |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| <p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○ 令和４年度の小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話会う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を３０％以上にする。</p> <p>令和４年度：３３．１％：目標どおりに達成した</p> <p>○ 令和４年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より０．０２ポイント向上させる。</p> <p>６年 国語…令和３年度：０．９２ 令和４年度：０．８９⇒取り組んだが目標を達成できなかった<br/>算数…令和３年度：０．９２ 令和４年度：０．８７⇒取り組んだが目標を達成できなかった</p> <p>５年 国語…令和３年度：０．９５ 令和４年度：０．９８⇒目標どおりに達成した<br/>算数…令和３年度：０．９２ 令和４年度：０．９７⇒目標どおりに達成した</p> <p>４年 国語…令和３年度：０．７３ 令和４年度：０．９４⇒目標を上回って達成した<br/>算数…令和３年度：０．８９ 令和４年度：０．９６⇒目標を上回って達成した</p> <p>３年 国語…令和４年度：０．８４<br/>算数…令和４年度：０．８７</p> <p>○ 令和４年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を６５％以上にする</p> |   |

令和4年度：66.5%⇒目標どおりに達成した

- 令和4年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を50%以上にする。

令和4年度：63.8%：目標を上回って達成した

#### 学校園の年度目標

- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。

1学期末：85.3% 2学期末：85.8%⇒目標を上回って達成した

- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「手洗いをしている」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。

1学期末：94.0% 2学期末：93.8%⇒目標どおりに達成した

- 令和4年度の学校児童アンケートにおける「給食を好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。

1学期末：85.1% 2学期末：85.6%⇒目標を上回って達成した

- 令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を前年度より全国平均に近づける。

令和3年度：男子体力合計点：54.85（全国平均：52.52）

女子体力合計点：54.32（全国平均：54.64）

令和4年度：男子体力合計点：54.63（全国平均：52.28）⇒目標どおりに達成した

女子体力合計点：59.43（全国平均：54.31）⇒目標どおりに達成した

#### 取組内容③

- ・教員の研究授業、公開授業等を（26回：2月24日現在）、教育指導員等を指導要請し、研究授業（6回：2月24日現在）・研究協議（6回：2月24日現在）を実施した。
- ・6月より、毎週金曜日、地域ボランティアによる放課後学習会を実施した。
- ・全学年で年1回以上の遠足、社会見学、体験学習等を実施することができた。

#### 取組内容④

- ・日々、すべての児童に、感染症対策（毎朝の検温、ていねいな手洗い、アルコール消毒、マスクの着用など）を徹底した。
- ・「手洗い強調週間」＜1学期：6月27日（月）～7月1日（金）、2学期：11月28日（月）～12月2日（金）、3学期：2月13日（月）～17日（金）＞を実施した。
- ・教職員研修＜「食物アレルギー対応」：4月4日（月）、「救急救命」：＜6月2日（木）、「熱中症対策」＜5月18日（水）＞を実施した。
- ・「保健だより」、「給食だより」（月1回）を発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめている。
- ・「なわとび大会」を実施した。

#### 次年度への改善点

- ③ 来年度以降も、校長経営戦略支援予算【学校配付】を活用し、遠足、社会見学、体験学習等（全学年：年1回）を計画的に実施する。
- ④ 今後も、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、体育的行事のすすめ方等の工夫改善に努める。

## 大阪市立川北小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 達成状況 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>【学びを支える教育環境の充実】</b><br><b>全市共通目標（小・中学校）</b><br>○ 令和4年度において、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した授業・朝学習・家庭学習等を週3回以上実施する。<br>○ 令和4年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を80%以上にする。<br><b>学校園の年度目標</b><br>○ 令和4年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した学習をすすめている。」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。<br>○ 令和4年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を75%以上にする。 | B    |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                                                                                                           | 達成状況 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>取組内容⑤【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</b><br>・授業におけるICT機器（電子黒板、タブレット等）の積極的な活用に努めるとともに、オンライン学習の推進に取り組む。<br>-----<br><b>指標</b><br>・各学級、学習室等で、ICT機器（電子黒板・タブレット等）を活用した学習活動等を（週3回以上）実施する。                             | B    |
| <b>取組内容⑥【基本的な方向8 生涯学習の支援】</b><br>・学校図書館の整備（蔵書の整理、データベース化等）に努めるとともに、児童の学校図書館を活用した調べ学習・読書活動を推進する。<br>-----<br><b>指標</b><br>・学校図書館の整備（蔵書の分類・整理、データベース化等）をすすめる。<br>・学校図書館の開館（年間50回以上）、学校図書館を活用した調べ学習・読書活動等（各学級各学期1回以上）を行う。 | B    |
| <b>取組内容⑦【基本的な方向9 家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</b><br>・地域・進学中学校と連携した教育活動（交流行事、合同授業等）を実施する。<br>-----<br><b>指標</b>                                                                                                               | B    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の見守り活動をはじめ、地域ボランティアによる学校支援の取組をすすめる。</li> <li>・進学中学校教員との合同授業（体育科）を実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |
| <b>【学びを支える教育環境の充実】</b><br><b>全市共通目標（小・中学校）</b><br>○ 令和4年度において、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した授業・朝学習・家庭学習等を週3回以上実施する。<br><b>令和4年度：週5回⇒目標どおりに達成した</b><br>○ 令和4年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を80%以上にする。<br><b>令和4年度：86.96%⇒目標を上回って達成した</b><br><b>学校園の年度目標</b><br>○ 令和4年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した学習をすすめている。」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。<br><b>1学期末：73.1% 2学期末：76.3%⇒目標どおりに達成した</b><br>○ 令和4年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を75%以上にする。<br><b>1学期末：82.9% 2学期末：80.3%⇒目標を上回って達成した</b><br><b>取組内容⑤</b><br>・日々、各学級、学習室等で、ICT機器（電子黒板・タブレット等）を活用した学習活動等を実施した。<br>・欠席児童等へのオンライン学習の実施をすすめた。<br><b>取組内容⑥</b><br>・学校図書館の整備（蔵書の分類・整理、データベース化等）をすすめた。<br>・学校図書館の開館（114回：2月24日現在）、各学級各学期1回以上、学校図書館を活用した調べ学習・読書活動等を行った。<br><b>取組内容⑦</b><br>・進学中学校と連携した授業・部活動体験<10月28日（金）>を実施した。<br>・地域ボランティアと学校とが協働し、日々の登下校時の見守り活動をすすめた。<br>・地域ボランティアによる学校支援の取組<田植え体験：5月16日（月）、稲刈り体験：9月15日（木）、稲の脱穀・精米体験：9月28日（水）、いも苗植え：5月11日（水）・12日（木）、いも堀り体験：10月26日（水）>を実施した。<br>・毎週水曜日（1～4限）に進学中学校体育科教員と合同授業等を実施した。 |  |
| 次年度への改善点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |
| ⑤ 今後も、教職員研修をより活性化させ、オンライン学習等の充実に取り組む。<br>⑥ 学校司書との連携による読書活動の更なる充実を図る。<br>⑦ 来年度以降、感染症対策を講じた地域ボランティアによる学校支援のすすめ方を検討する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |